

# 学生卒業設計制作NCF空間ディスプレイアワード受賞作品

受賞年	2024年	
受賞タイトル	奨励賞	
区分	Ⅲ. エンターテインメント・ディスプレイデザイン	
フリガナ	タチカソウ	
制作者名	田中 颯	
フリガナ	タマビジュツダイガク ビジュツガクブ トウゴウデザインガッカ	
卒業時の大学 学部・学科	多摩美術大学 美術学部 統合デザイン学科	
フリガナ		職名
推薦者名		
フリガナ	スリー デイメンショナル インプット デバイス	
作品名	3-dimensional input device	
概要	 <p>立体的な入力が可能な新しいデバイス。 3つの座標軸がそれぞれ音のなる間隔、ピッチ、リバーブに対応しており、中央に吊るされているキューブを動かす事によって、その座標に応じた音を奏でる。キューブはワイヤー・滑車・おもりを用いた重さのつり合い関係によって任意の位置で固定することが可能。</p> <p>動画リンク <a href="https://drive.google.com/drive/folders/1M-xLms3zEqhpN89PBNjHAKGUeUI4JAvJ?usp=sharing">https://drive.google.com/drive/folders/1M-xLms3zEqhpN89PBNjHAKGUeUI4JAvJ?usp=sharing</a></p> 	

制作者名	田中 颯
作品名	3-dimensional input device

## 【コンセプト解説】

近年、空間ディスプレイは利用する場所、時間、ユーザー等によって、得られる体験や情報が変化する事を求められているように思う。

実例としてはタッチパネル付きの案内板やブラウザの cookie 等が挙げられるだろう。

そういったインタラクティブな空間ディスプレイと入力装置は切っても切り離せない関係にある。

今回入力装置自体に着目する事によって、高い拡張性を持つと共に今までにない新しい体験を作る事に挑戦した。

2つの入力軸をもったデバイスはマウスやタッチパネル、ペンタブレットなど様々な形態で見ることが出来るが、3つの入力軸になると加速度センサーやジャイロセンサーなど操作感覚を持たない物に限られてしまう。

このデバイスはそこに着目し、おもり同士を釣り合う力を利用して操作部分を吊るすことにより、操作時におもりの重さ分の抵抗感を持たせることに成功した。

この作品を通じて普段あまり意識していないであろうデバイス自体が持つ面白さを実感して頂けたのであれば幸いです。

